

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】令和5年8月25日(2023.8.25)

【国際公開番号】WO2022/145143  
 【出願番号】特願2022-572933(P2022-572933)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00(2017.01)

G 0 6 V 40/00(2022.01)

G 0 6 F 21/36(2013.01)

G 0 6 F 21/32(2013.01)

10

【F I】

G 0 6 T 7/00 5 1 0 A

G 0 6 V 40/00

G 0 6 F 21/36

G 0 6 F 21/32

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月7日(2023.6.7)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象を時系列的に連続して撮像することで前記対象が写り込んだ複数の画像を生成可能な撮像装置と、

前記複数の画像のうちの少なくとも一つを用いて前記対象を認証する情報処理装置とを備え、

30

前記情報処理装置は、

前記複数の画像の夫々から、前記対象の動きに応じて変化する前記対象の特徴量を抽出する抽出手段と、

前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化している場合に、前記対象の認証が失敗したと判定する認証手段と

を備える情報処理システム。

【請求項2】

前記情報処理装置は、単位時間当たりに前記撮像装置が前記対象を撮像する回数を示す撮像レートを変更可能な変更手段を更に備える

請求項1に記載の情報処理システム。

40

【請求項3】

前記変更手段は、前記撮像装置が同じ対象を撮像する期間中に、前記撮像レートを、第1の撮像レートから、前記第1の撮像レートとは異なる第2の撮像レートに変更し、

前記撮像装置は、前記第1の撮像レートで前記対象を時系列的に連続して撮像した後、前記第2の撮像レートで同じ対象を時系列的に連続して撮像し、

前記認証手段は、前記第1の撮像レートで前記対象を時系列的に連続して撮像することで生成される前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化しているという第1条件、及び、前記第2の撮像レートで前記対象を時系列的に連続して撮像することで生成される前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化しているという第2条件の少なくとも一方が成立する場合に、前記対象の認証が失敗したと判定する

50

請求項 2 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】

前記撮像装置は、前記撮像装置に向かって進んでいる前記対象を時系列的に連続して撮像する

請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項 5】

撮像装置が対象を時系列的に連続して撮像することで生成される、前記対象が写り込んだ複数の画像の夫々から、前記対象の動きに応じて変化する前記対象の特徴量を抽出する抽出手段と、

前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化している場合に、前記対象の認証が失敗したと判定する認証手段と

を備える情報処理装置。

10

【請求項 6】

対象を時系列的に連続して撮像することで前記対象が写り込んだ複数の画像を生成し、

前記複数の画像の夫々から、前記対象の動きに応じて変化する前記対象の特徴量を抽出し、

前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化している場合に、前記対象の認証が失敗したと判定する

情報処理方法。

20

【請求項 7】

コンピュータに、

対象を時系列的に連続して撮像することで前記対象が写り込んだ複数の画像を生成し、

前記複数の画像の夫々から、前記対象の動きに応じて変化する前記対象の特徴量を抽出し、

前記複数の画像の間で前記特徴量が時系列的に非連続に変化している場合に、前記対象の認証が失敗したと判定する

情報処理方法を実行させるコンピュータプログラム。

30

40

50